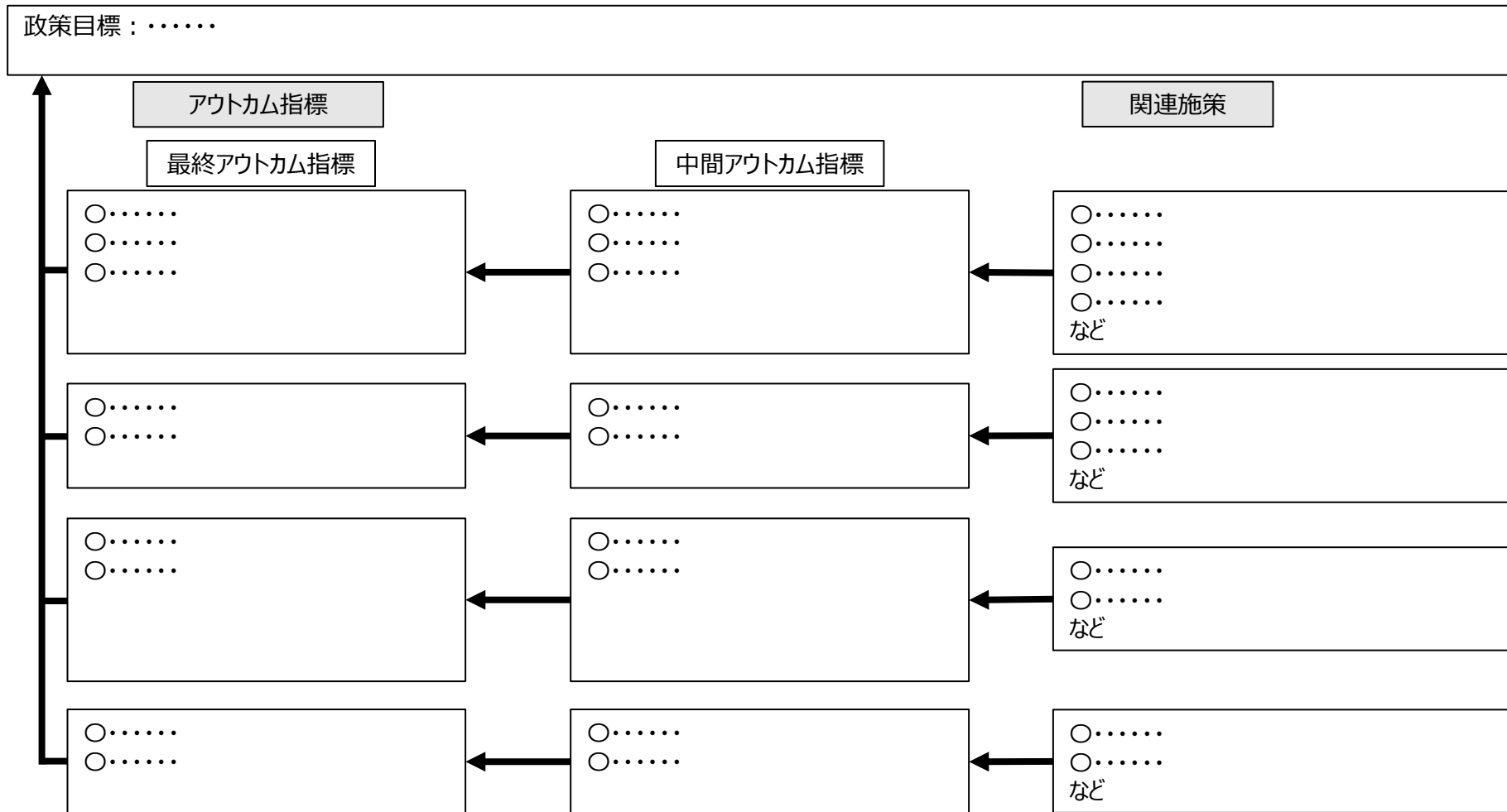


# 「EBPMアクションプラン」(様式案・改訂後)

各テーマについて、今後の議論を通じて深掘りしていくことを想定(2ページ以内に収める必要はない)。

## 【重要政策・計画名を記載】

### 1. 政策体系の概要 政策目標、関連するKPI、施策をツリー形式で整理



### 2. 検証事項

エビデンス整備方針の「検証事項」を踏まえて記載

### 3. 分析・検証方法、用いるデータ等 エビデンス整備方針に記載した内容を深掘り

	確認するエビデンス等	分析・検証方法	用いるデータ等
A	●●に係る施策により、△△に結びついているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>右記データを用いて●●と△△の因果関係を分析（2026年度半ばまで）</li> <li>必要に応じて、有識者検討会を立ち上げを検討。</li> </ul>	「～～基本調査」 <ul style="list-style-type: none"> <li>●●の取組に関するデータ（調査項目を追加）</li> <li>△△に関するデータ</li> </ul> ※因果関係の分析において、外的条件の制御に必要なデータも記載。
B	××に係る施策により、■■に結びついているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○○分析の手法も利用しながら、××施策が■■の成果につながっているか、右記データを元に、委託調査を実施して、2028年度までに分析・検証を実施。</li> </ul>	「××補助金申請事業者に対する調査」 <ul style="list-style-type: none"> <li>×××補助金申請企業に関するデータ（採択事業者・非採択事業者の両方を含む）</li> </ul>

### 4. 分析・検証体制 エビデンス整備方針に記載した内容を深掘り

- （A）の分析・検証においては、関係省庁（●●、△△等）と連携して分析。必要に応じて、有識者会議（○○研究会）を立ち上げて検討。
- （B）の分析・検証においては、外部の調査会社・研究機関等も活用しつつ、分析・検証を実施。

### 5. ロードマップ エビデンス整備方針に記載した内容を踏まえて工程化

分析・検証	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度以降
A. ●●に係る取組	「～～基本調査を整備」 （調査項目を追加）	分析を実施（A研究所）と連携 （必要に応じて有識者検討会を立ち上げ）		次期△△基本計画の策定に活用
B. ××に係る取組	××調査（新設）に係る 来年度予算要求	補助金申請企業に対して 「××調査（仮称）」 を新たに開始	分析・検証(委託調査)	■■戦略の改定に活用

### 6. エビデンスの政策見直しへの活用方法 新規に記載

当該エビデンスを○○審議会、■■戦略会議にフィードバックし、2027年度から2028年度にかけての次期△△基本計画の策定や、2028年度の■■戦略の改定に活用。